

令和6年度 一般入試の合否判定について

沖縄県立中部農林高等学校
定時制課程

1. 出願資格

出願資格のある者は次の通りとする。

- (1) 当該学科を志望する目的意識が明確でかつ理由が適切である者。
- (2) 当該学科に対する適性および興味・関心を有する者。
- (3) 健康で人物が優れている者。
- (4) 学業成績および勤怠状況が良好である者。

2. 一般募集人員

募集定員＝各学科40名から推薦入学内定者を差し引いた人員

3. 選抜の方法

- (1) 出身中学校長から提出された調査書、学力検査等の成績及び面接の結果に基づき選抜を行う。
- (2) 内申点の学校間格差は原則としてないものとする。
- (3) 内申点と学力検査の成績との比重は5対5とする。
- (4) 内申点の偏差値と学力検査の偏差値の合計の順位を受検者の席次とする。

4. 各圏の設定の仕方

内申点、学力検査点に基づいて A 圏、B 圏、C 圏を設定する。

〔A 圏〕

内申点、学力検査点に基づいて募集人員（推薦合格人員を除く、以下同じ）の 80%程度的人数が含まれるように範囲を設定して A 圏とする。

〔B 圏〕

募集人員の 110%程度が含まれるように範囲を設定し、それから A 圏をのぞいたものを B 圏とする。

〔C 圏〕

A 圏と B 圏を除いた残りを C 圏とする。

5. 合格者、不合格者の決め方

- (1) A圏の中で下記の条件1の(a)、(b)のいずれかに該当するもの以外は合格者とする。ただし第二志望の者は、B圏として扱う。
- (2) C圏の中で条件2の(a)、(b)、(c)、(d)のいずれかに該当するもの以外は不合格とする。
- (3) B圏の者に(1)と(2)で保留になった者を含めて条件2の(a)、(b)、(c)、(d)により総合的に判断し、合格者を決定する。

条件1

- (a) 行動等の記録に好ましくない記載がある者
- (b) 正当な理由がなく、欠席・遅刻・欠課の数が多い者

条件2

- (a) 観点別学習状況が著しく良い者
- (b) 学力検査点が著しく高い者
- (c) 内申点が著しく高い者
- (d) 行動等の記録が著しく良い者

令和6年度 第2次募集の合否判定について

沖縄県立中部農林高等学校
定時制課程

1. 出願資格

出願資格のある者は次の通りとする。

- (1) 当該学科を志望する目的意識が明確でかつ理由が適切である者。
- (2) 当該学科に対する適性および興味・関心を有する者。
- (3) 健康で人物が優れている者。
- (4) 学業成績および勤怠状況が良好である者。

2. 募集人員

令和6年度県立高等学校入学者選抜実施要領に基づき、上記に該当する志願者より、各学科入学定員に達していない人数を選抜する。

3. 選抜方法について

- ① 学力検査を受検した者については、学力検査成績証明書(第14号様式)、調査書(第2号様式)面接等の結果を資料として行う。
- ② 学力検査を受検しなかった者については、本校校長の定めるところによって実施する学力検査(国語、数学、英語)の結果、調査書(第2号様式)、面接等の結果を資料として行う。
- ③ 学力検査を受検しなかった者のうち、過年度卒業者については志願先高等学校長の定めるところにより学力検査を免除することができる。

※全日制課程の選抜方法については、全日制課程のHPをご覧ください。